

新春を迎えて

—— 各会派の抱負 ——

議会運営委員会を構成する会派の新年の抱負を掲載しています。各会派の構成については、最終面をご覧ください。

将来を見据えた区政改革を推進!

練馬区議会自由民主党・無所属 (18人)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。練馬区独立70周年を迎える節目の年が、区民の皆さまにとって素晴らしい年となることを、心よりご祈念申し上げます。また平素より自由民主党に対し格段のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年安倍内閣は、回り始めた経済の好循環を持続的な成長路線に結び付け、アベノミクス第3の矢として「日本再興戦略」を策定し、大胆かつスピードを持った成長戦略を実施しました。身近な生活の場においても、その効果が実感できるようになることが期待されます。

練馬区においては、一昨年に策定した「みどりの風吹くまちビジョン」や「アクションプラン」を基に、具体的な仕組みや態勢を区民の視点から改めて見直す、区政改革に取り組んできました。そして昨年、区政改革推進会議から練馬区を育て創っていくのは区民自身であり、当事者意識を持つて取り組む区民が、区と手を取り合って課題解決に向かう、これが本当の意味での区民参加・協働である、という提言を受け、この提言を根幹として平成28年10月に「区政改革計画」を策定しました。

新たな成長に向けて責任ある未来へ

練馬区議会民進党・無所属クラブ (6人)

旧年中は、多大なるご支援を賜り心から感謝申し上げます。新たな年を迎え、本年が区民の皆さまにとって、幸多き年となるよう、心よりご祈念申し上げます。

練馬区も板橋区から分離独立して70年となる、記念すべき年を迎えました。23区の中では末っ子であった練馬区も、人口72万人を超す大きな区へと成長しました。これも先人の諸先輩方が築かれた貴重な財産であり、多大なる功績が、今日の練馬区の礎となることに対して、改めて敬意を表します。これからは、私達が未来に対して責任を持ち、誇れる練馬区を引き継ぐ番です。我々会派としても、区民協働を軸とした区政運営を引き続き提言していき、将来にわたり、持続可能な練馬区を目指し一丸で取り組んでまいります。

野党と市民の共闘をさらに大きく

日本共産党練馬区議団 (6人)

日頃からの大きなご支援に感謝申し上げます。昨年は、安倍内閣が民意無視の強権政治に走るなか、野党と市民の共闘が大きく広がるという新しい時代が始まりました。区議会でも共闘によって数による横暴な議会運営を許さない闘いが前進してきました。こうした共同の力で政治を進めるために力を尽くします。

いま練馬区では、財政難を理由にして、区民に必要な施設であっても統廃合や民営化を行い、経費削減ばかり優先する流れが強まっています。区民サービス引き下げの懸念が広がるもと区民との丁寧な合意形成もなされていません。

私たちは、暮らしが大変な区民の実態に寄り添い、どのような問題でも区民合意を得ながら、福祉の増進という自治体本来の役割を果たす区政となるよう求めてまいります。

未来に責任。安全・安心の練馬へ

練馬区議会公明党 (12人)

新春を寿ぎ謹んでご挨拶申し上げます。皆様には、日頃より公明党をご支援いただき、心より感謝申し上げます。

我が国の政治課題は山積しており、社会全体で支え合う仕組みを構築し、将来に不安を取り除くための改革が求められております。今ほど政治の合意形成力が試されている時はありません。

練馬区議会公明党は「現場第一主義」をモットーに、常に地域住民の声を丁寧受け止め、その声を政治に届けるために全力で働いて参りました。今後も住みたいまち、住み続けたいまち、魅力あふれるまちづくりを進めるうえで、地域住民の皆様の声をしっかりと受け止め現場の声を政策に反映させてまいります。

特に喫緊の課題として、保育所の待機児童解消のための保育所等の定員増の推進や、「超」超高齢化社会を見据えた高齢者施設の整備、病床数不足解消のための新病院誘致、首都直下地震等に備えた防災減災対策などさまざまな政策課題に、全力で取り組んでまいります。

練馬区独立70周年を迎える本年、練馬区議会公明党は改革の先頭に立ち、区政を進めるとともに、今後も多様な民意を的確にとらえ、議員一人ひとりが地域に信頼の輪を広げ、国会・都議会・区議会のネットワークで希望がゆきわたる練馬区の実現に向け邁進してまいります。

今後とも公明党への力強いご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平和・人権を守り共に生きるまちに

生活者ネットワーク (3人)

安売法の施行や沖縄での強引な基地建設など平和と地方自治が揺らぐなか、新年を迎えました。貧困や格差、政治不信など社会全体を覆う不安によってますます息苦しさを感じる今、一人ひとりが大切にされることが実感できる社会の実現に取り組んでいきます。

現在策定中の公共施設等総合管理計画は地区区民館や公園、学校など私たちの生活に身近な問題です。税金の使い方として公共施設のあり方を一緒に考えていきましょう。